

パート1 ~ 輸出国における木材製品と合法木材供給ネットワーク

【趣旨】

日本市場に向けた輸出国における合法木材供給体制の事例を紹介し、日本市場の購入行動が、国際的な違法伐採問題への取り組みに重要な影響を与えることに理解を得ることとする。

このため、輸入材産地国の関係者により、団体及び日本に輸出される木材の概要、違法伐採問題に対する認識、ガイドラインに基づく合法性が証明された木材・木材製品 (Goho-wood) の供給体制と供給実態、今後の課題と日本市場への期待、について発言をもとめる。その後、フロアも含めて討議する。

【パネリスト紹介】

永田 信

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

1974 年東京大学農学部林学科卒業、Yale 大学で Ph.D.(経済学)、北海道大学経済学部助教授、東京大学農学部助教授をへて、1996 年より現職。日本森林学会会長、林業経済学会会長を歴任、森林政策学が専門、木材の国際貿易や熱帯林を含む森林資源の動向の分析、国内の森林・林業政策の質的な分析から計量的な分析までを手がけてきた。

アレキサンダー・シドレンコ

ロシア極東の木材輸出業者協会 ダリエクスポルトレス 会長

2005 年より現職。同時にスメナ貿易社社長。同社は 1991 年創設、ロシア極東地域において最大の規模貿易会社の一つであり、97 年にダリエクスポルトレスに加盟。2007 年の輸出量は百万立方メートルを超える。2007 年全ロシアベスト輸出業者コンテストに参加し、輸出振興部門にノミネートされた。

マイケル・スノー

アメリカ広葉樹輸出協会 専務理事

1999 年よりアメリカ広葉樹輸出協会(ワシントン D.C.)の専務理事を務めており、欧州(イギリス)、メキシコ、日本(大阪)、香港、中国(上海)にある海外事務所を統括し、世界中でのアメリカ広葉樹プロモーションに携わる。ウィスコンシン大学開発経済学部を卒業、ジョージ・ワシントン大学で国際経済学の修士課程を取得、ウィスコンシン大学では英語とスペイン語で経済学の講義をしていた経験も持っている。

朱 光前

中国木材流通協会 会長

1965 年北京林学院(現北京林業大学)を卒業、その後 40 余年木材業界の業務に携わってきた。国家の重要な生産資材の主管部門である物資部、国内貿易部、国家国内貿易局業務、総括課長、部長等の要職を歴任。全国木材・建材貿易、流通政策の制定、計画及び管理等の方面の業務を主管。全国の木材中長期需給における均衡計画及び年間分配計画等の計画制定を主宰。また、木材に関連する法規と全国の木材市場の動態分析業務にたずさわる。全国大学物資専門教育教材「木材商品学」(国内貿易部大学教材三等賞受賞)の審査委員長を担任。

B.C.Y.フリーザイラー

マレーシア木材認証機構 議長

前掲

大橋 泰啓

日本木材輸入協会 専務理事

2007 年より日本木材輸入協会(JLIA)の専務理事を務めており、JLIA 会員と政府や国内外の業界団体との窓口としての役割を担っている。1970 年に同志社大学を卒業とともに住友商事(木材部)に入社、34 年間の東京及びダバオ・コタキナバル・シブ・ジャカルタ事務所での勤務を通じて主に南洋材丸太、製材及び合板の輸入・販売に携わり、富山支店に勤務しロシア丸太を取扱った経験も持っている。